

令和元年 12 月 13 日

質問者：高祖常子 特別部会員

令和元年度第 4 回 足立区地域保健福祉推進協議会
「子ども支援専門部会」における事前質問に対する回答

1 審議・調査事項

- (1) 第 2 期足立区子ども・子育て支援事業計画(案)に対するパブリックコメントの実施結果について

Q 1 パブコメ「3」に関連して

待機児童解消については区からコメントされているが、「質の確保」についての考えや施策を伺いたい。

私の身近にも小規模園が乱立している状況があり、保育の質の部分においての懸念をきくことがある。保育士の人数自体がぎりぎりだと、過剰労働にもなり、また子どもを指示的に保育指導する場面も増え、虐待になりかねない状況にもなりかねない。ぜひ改善をお願いします。

A 1 保育の質につきましては、指導検査、巡回指導などを行い、一定の保育の質が担保されていることを確認していますが、課題を抱える園もあると認識しています。

今後も、区の保育士が各園を巡回し、直接助言を行うほか、具体的な対応を示し、適正な保育運営が行われるよう支援していきます。

Q 2 パブコメ「7」に関連して

学童保育の人数がいっぱいいっぱいであるところもあり、そのような学童では、上記同様に、子どもたちを指示的に管理しているようなところが少なくないようです。ニーズ調査を行っているうえで体制を検討いただいていると思うが、学童室の設置整備とともに、子ども人数に対する指導員数なども、国の規定はもちろんクリアしていると思うが、子どもにとってよりよい環境整備を検討いただきたい。

A 2 支援員の配置人数については、国の基準に則っていますが、要支援児対応等、実態に合わせて、別途人員配置を行っています。

また、支援員の質についても、各種専門研修の実施や放課後児童支援員の資格取得を推奨するなど、向上を図る取り組みを行っています。

Q 3 パブコメ「11」に関連して

待機児童数の多い地域では、一時預かりの枠がほとんど取れていないと聞く。専業主婦家庭などの場合、リフレッシュのための一時保育はとても重要であるので、ぜひ、余裕を持った運営や確保をお願いしたい。

A 3 ご家庭で保育をしている方がリフレッシュのため、一時預かりを利用することの重要性は認識しております。区立私立の22園の認可保育園や子ども預かり・送迎支援事業、ファミリー・サポート・センター事業のほか、認証保育所や小規模保育で実施している一時預かりも含めて、事業のPRを行っていくとともに、制度の充実を図っていきます。

(2) 新・足立区放課後子ども総合プラン(骨子案)に対するパブリックコメントについての区の考え方について

Q 4 パブコメ「2」に関連して

学童保育のみならず、保育園でも預かり時間の長時間化が懸念されている。保護者支援も大事だが、親子の時間を確保するためにも、働き方の見直しや家族時間の確保など、区からのメッセージ発信もぜひしていただきたい。

A 4 働き方の見直しや家族時間の確保などは、ワーク・ライフ・バランスや家庭教育を推進していく上でも重要な課題であると認識しております。引き続き、各種講座やイベントの実施、ホームページなどを通じてワーク・ライフ・バランスの必要性を発信し、啓発の強化と意識の底上げに努めていきます。

さらに、「あだち家族ふれあいの日」など、今後も親子で様々な体験をする場を提供しながら支援していきます。